

福井県  
医療的ケア児等実態調査

調査結果報告書

令和4年3月

福井県健康福祉部障がい福祉課



# 目次

I	調査の概要	- 1 -
1	調査の目的	- 1 -
2	調査の内容	- 1 -
3	調査の設計	- 1 -
4	回収結果	- 1 -
5	注意事項	- 1 -
	(参考) 一次調査結果概要	- 2 -
II	二次調査の結果	- 3 -
1.	医療的ケア児者の状況について	- 4 -
問1	現在の居住市町	- 4 -
問2	出生市町	- 5 -
問3	年齢(令和3年4月1日時点)	- 6 -
問4	アンケートの回答者(医療的ケア児者本人からみた続柄)	- 7 -
問5	現在受けている医療的ケア(複数回答可)	- 7 -
問6	運動状況	- 8 -
問7	意思疎通の状況や介助の必要性	- 8 -
問8	主たる医療機関への移動距離	- 8 -
問9	主たる医療機関の所在地	- 9 -
2.	医療的ケア児者の日中の過ごし方について	- 10 -
問1	通園・就学・就労について	- 10 -
問2	最近1年間の福祉サービスの利用(複数回答可)	- 10 -
問3	訪問診療の利用について	- 12 -
問4	訪問看護の利用について	- 12 -
問5	通勤・通学時の移動支援について	- 12 -
問6	通院時の移動支援について	- 12 -
問7	入浴介助について	- 12 -
問8	医療的ケア児者に対応したグループホームの利用希望	- 13 -
3.	主たる看護・介護者の状況について	- 14 -
問1	主たる看護・介護者	- 14 -
問2	主たる看護・介護者の年齢(令和3年4月1日時点)	- 14 -
問3	気軽に相談できる相手	- 14 -
問4	健康状態	- 15 -
問5	1日あたりの睡眠時間	- 15 -
問6	就労の状況	- 15 -
問7	看護・介護の状況	- 16 -
問8	在宅での看護・介護の予定(希望含む)	- 16 -

問9 上記以降の医療的ケア児者の予定（希望含む）（複数回答可） .....	- 16 -
4. 医療的ケア児者の災害時・緊急時の対策について.....	- 17 -
問1 災害時の避難先 .....	- 17 -
問2 緊急時の預かり先 .....	- 17 -
問3 レスパイトの利用希望 .....	- 18 -
問4 レスパイトの利用希望 .....	- 19 -
5. 調査を通して感じたことやその他コメント（自由記載） .....	- 20 -
付録 調査票.....	- 21 -

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

福井県内で暮らす在宅の医療的ケア児者の実態を調査し、今後の障がい福祉施策および支援体制の検討のための基礎資料とする。

## 2 調査の内容

- ・本人の状況について
- ・本人の日中の過ごし方について
- ・家族（看護・介護者）の生活状況について
- ・本人の災害時・緊急時の対策について

## 3 調査の設計

- ・対象者 県内在住で、主に在宅で生活しており、日常生活を営むのに医療的ケアを必要とする者のうち、令和3年4月1日時点で40歳未満（昭和57年4月2日以降生まれ）の児者
- ・標本数 197人
- ・調査方法 一次調査にて回答のあった医療機関、訪問看護ステーションおよび障害福祉サービス事業所に調査票の配布を依頼し、郵送またはMicrosoft Formsにより回答
- ・調査期間 令和3年10月18日から令和3年11月26日

## 4 回収結果

発送数	対象者	回収数	有効回収数	有効回収率
550件	197人	114件	113件	57.4%

※有効回収数は、回数数のうち無効回答を除いた数

## 5 注意事項

- ・回答率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、比率の数値の合計が100.0%にならない場合がある。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合がある。
- ・複数回答可の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- ・グラフ中の「n（Number of caseの略）」は基数で、その質問に回答した人数を表す。

## (参考) 一次調査結果概要

1. **調査対象** 県内在住で、主に在宅で生活しており、日常生活を営むのに医療的ケアを必要とする者のうち、令和3年4月1日時点で40歳未満（昭和57年4月2日以降生まれ）の児者

### ※医療的ケア

点滴の管理・腹膜透析・酸素療法・気管切開の処置・疼痛の看護・経管栄養・摘便、洗腸などの排便管理・モニター測定・導尿・膀胱留置カテーテル、コンドームカテーテル等・胃ろうのチューブ交換・中心静脈栄養・ストーマ（人工肛門）の処置・レスピレーター（人工呼吸器）・吸引・咽頭エアウェイ・吸入・インスリン注射・褥瘡の処置・てんかん発作時の処置や対応・持続注入ポンプ使用

2. **調査時点** 令和3年4月1日現在
3. **調査方法** 県内医療機関、訪問看護ステーションおよび障害福祉サービス事業所へ調査票を送付し、回答を求めた。
4. **調査期間** 令和3年5月10日から令和3年6月11日
5. **回答数**

医療機関	18機関
障害福祉サービス事業所	28機関
訪問看護ステーション	22機関
6. **対象の医療的ケア児者の数** 197名  
(居住地と同市町内の医療機関で対応している数は100名)  
(0～18歳の数は118名)

## Ⅱ 二次調査の結果

回収率は全体で 57.4%であった。

回収率が 100%以上の市町は、あわら市、永平寺町、小浜市、若狭町であり、回収率が最も低かったのは、池田町（0%）、次いで大野市（37.5%）であった。

圏域ごとでの回収率では、高い順に嶺南地区（60.7%）、丹南地区（59.5%）、福井・坂井地区（57.1%）、奥越地区（46.2%）であった。

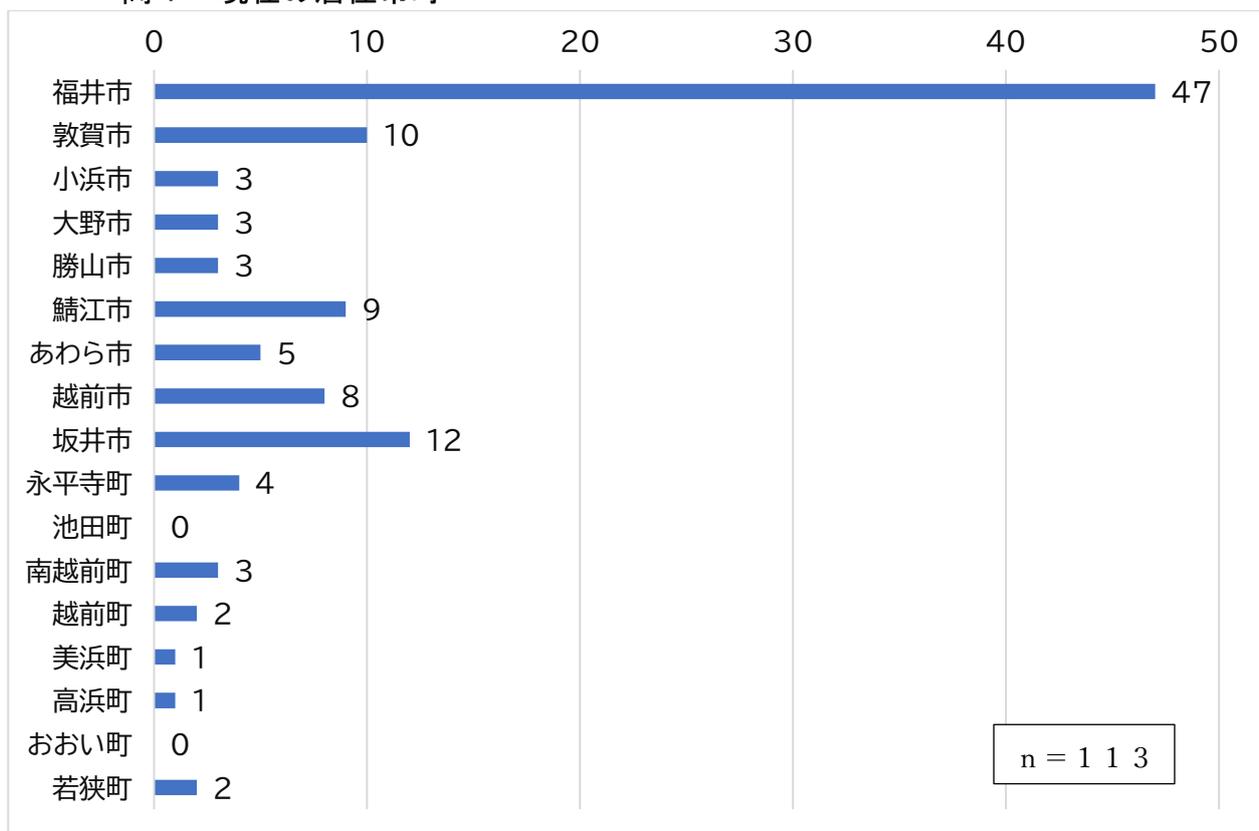
圏域	市町	調査対象者(一次調査より)			二次調査有効回答数			回収率
		18歳以下	19歳以上	計	18歳以下	19歳以上	計	
福井・坂井地区	福井市	50	32	82	28	19	47	57.3%
	坂井市	12	16	28	3	9	12	42.9%
	あわら市	3	2	5	2	3	5	100.0%
	永平寺町	2	2	4	1	3	4	100.0%
奥越地区	大野市	6	2	8	3	0	3	37.5%
	勝山市	3	2	5	3	0	3	60.0%
丹南地区	鯖江市	10	2	12	7	2	9	75.0%
	越前市	12	5	17	7	1	8	47.1%
	南越前町	3	1	4	3	0	3	75.0%
	越前町	3	0	3	2	0	2	66.7%
	池田町	0	1	1	0	0	0	0.0%
嶺南地区	敦賀市	7	11	18	6	4	10	55.6%
	小浜市	2	0	2	3	0	3	150.0%
	若狭町	2	0	2	2	0	2	100.0%
	美浜町	2	3	5	1	0	1	20.0%
	高浜町	0	0	0	1	0	1	-
	おおい町	1	0	1	0	0	0	0.0%
合計		118	79	197	72	41	113	57.4%

※圏域ごとに二次調査の回答数が多い順に掲載

※一次調査は県内の医療機関を主たる医療機関として通院している件数。主たる医療機関が県外の場合、一次調査では計上されない。そのため、二次調査の回収率が 100%を超える場合がある。

# 1. 医療的ケア児者の状況について

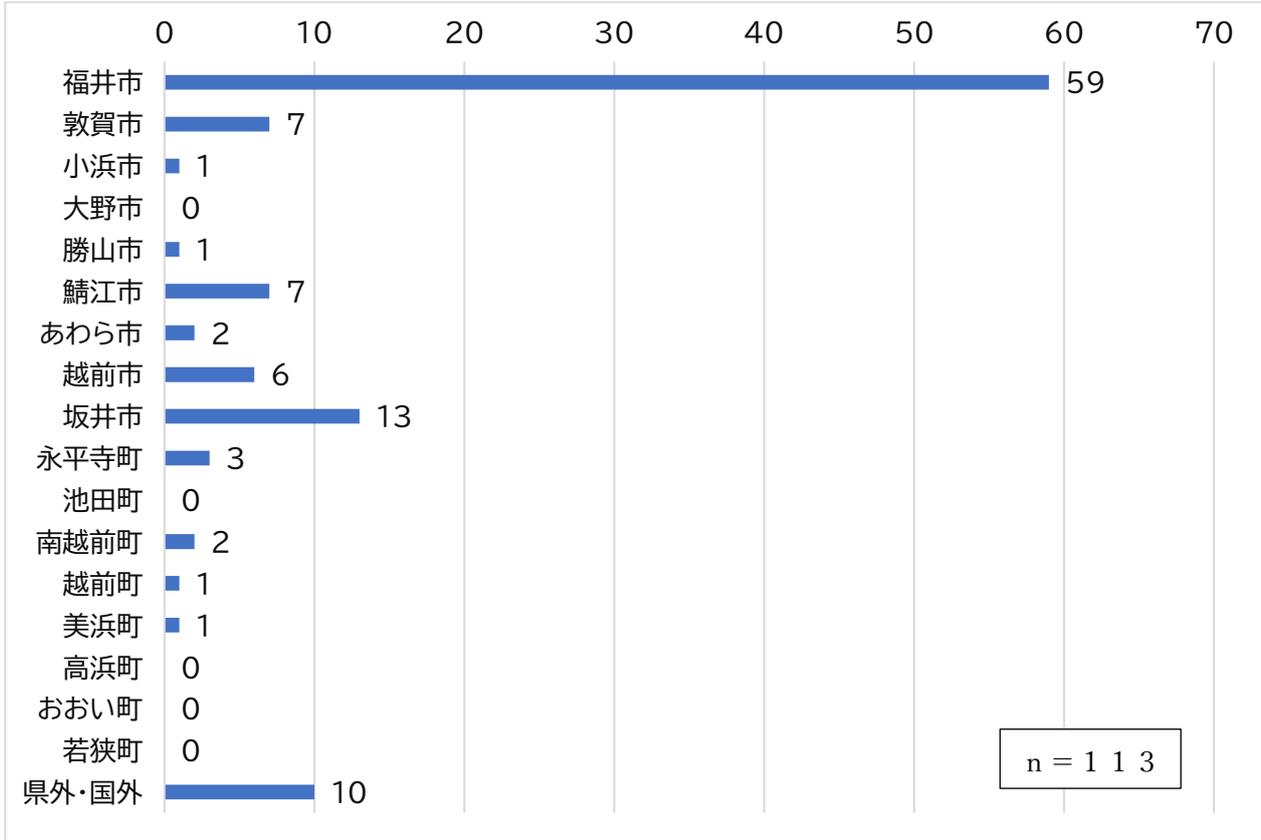
## 問1 現在の居住市町



圏域	割合 (%)	市町名	人数 (人)
福井・坂井地区 (永平寺町含む)	60.2	福井市	47
		坂井市	12
		あわら市	5
		永平寺町	4
奥越地区	5.3	大野市	3
		勝山市	3
丹南地区	19.5	鯖江市	9
		越前市	8
		南越前町	3
		越前町	2
嶺南地区	15.0	敦賀市	10
		小浜市	3
		若狭町	2
		美浜町	1
		高浜町	1
計	100.0	15市町	113

・池田町、おおい町を除く15市町に居住

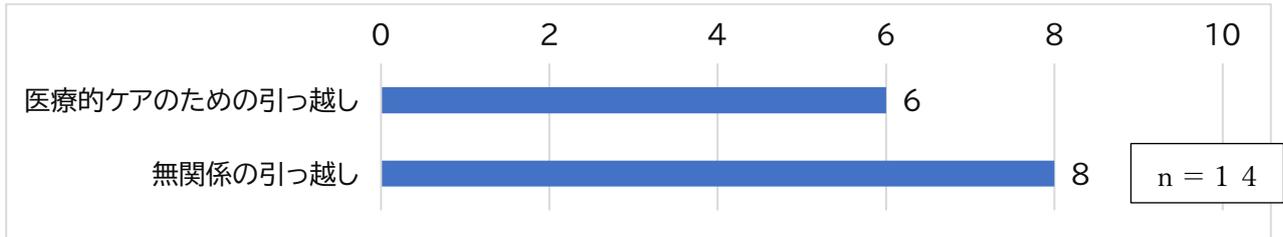
問2 出生市町



圏域	割合 (%)	市町名	人数 (人)
福井・坂井地区 (永平寺町含む)	68.1	福井市	59
		坂井市	13
		あわら市	2
		永平寺町	3
奥越地区	0.9	大野市	0
		勝山市	1
		鯖江市	7
丹南地区	14.2	越前市	6
		南越前町	2
		越前町	1
		池田町	0
		敦賀市	7
嶺南地区	8.0	小浜市	1
		若狭町	0
		美浜町	1
		高浜町	0
		おおい町	0
		—	0
県外・国外	8.8	—	10
計	100.0	17市町	113

・ 出生地と居住地の回答が異なるもの… 13件

➤ 医療的ケアが必要であるための引っ越し

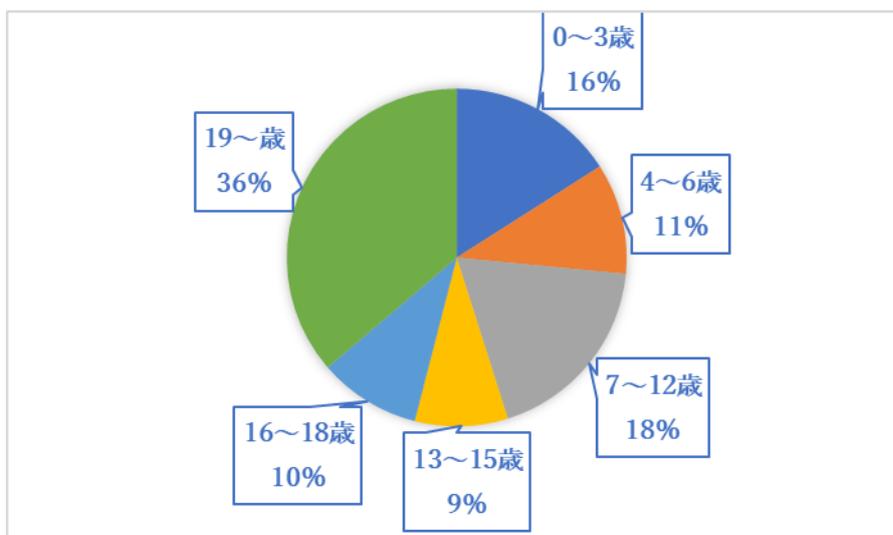


・医療的ケアのため他市町へ引っ越しをした方は4人。うち、他圏域へは1人

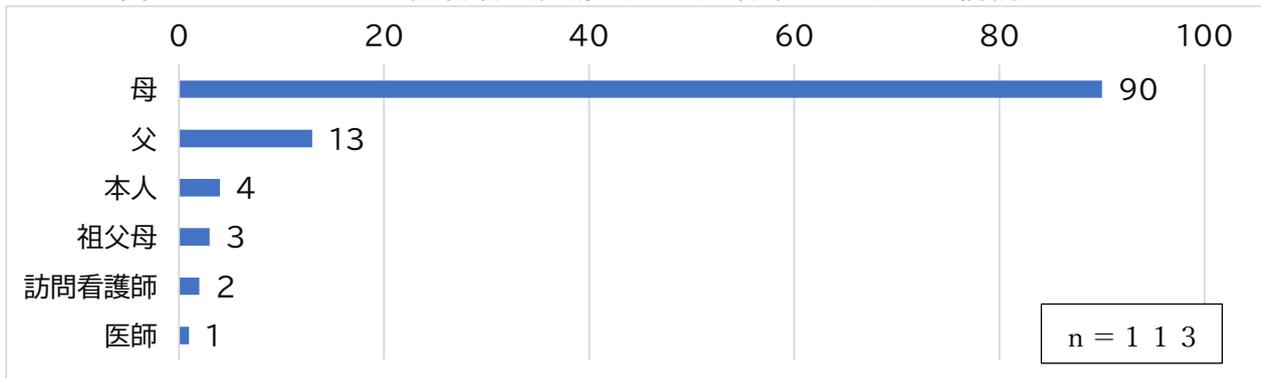
問3 年齢（令和3年4月1日時点）

n = 113

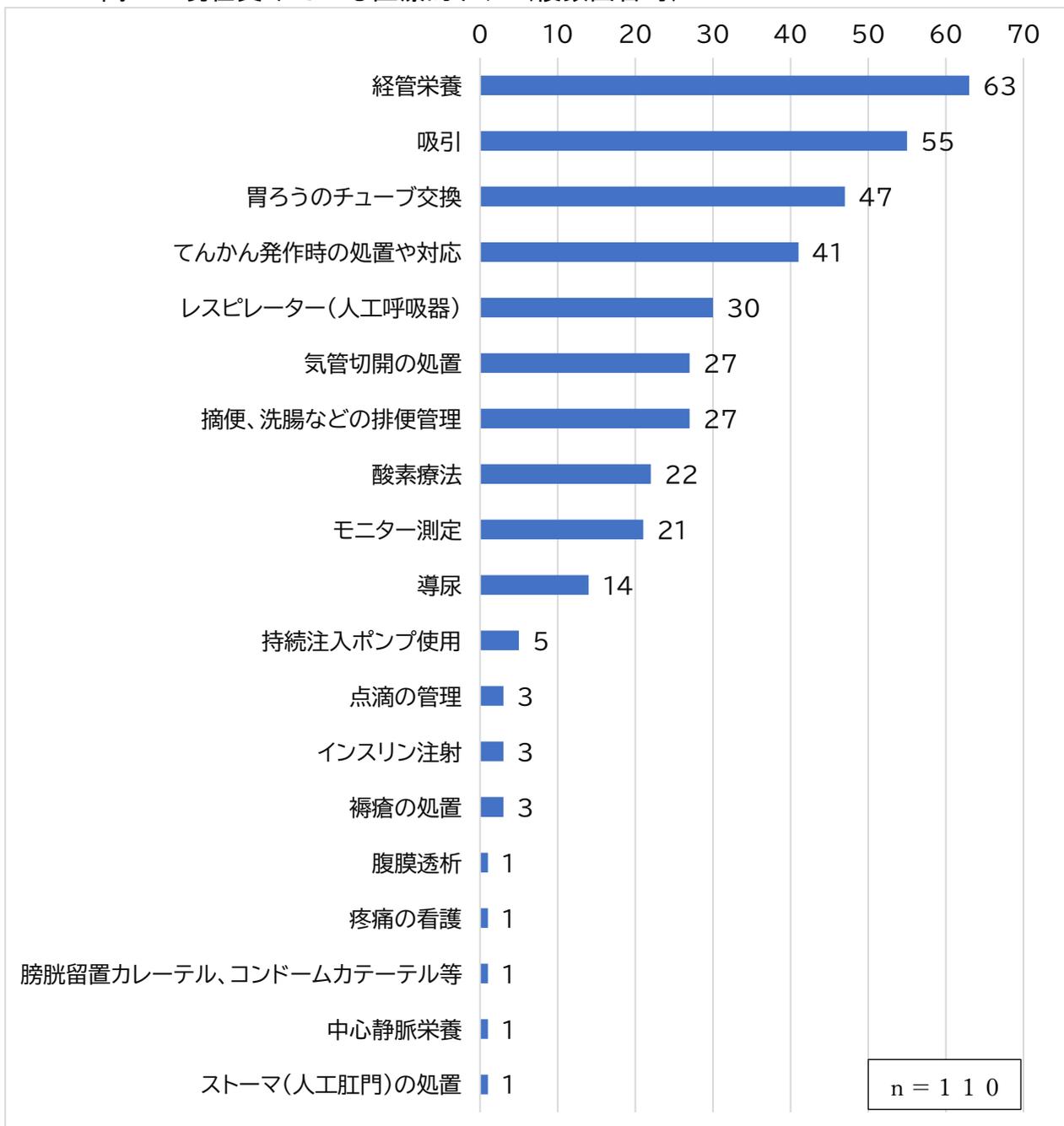
<b>0～3計</b>	0歳	1歳	2歳	3歳			
18	1	3	7	7			
<b>4～6計</b>	4歳	5歳	6歳				
12	4	3	5				
<b>7～12計</b>	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	
21	2	3	4	3	8	1	
<b>13～15計</b>	13歳	14歳	15歳				
10	3	4	3				
<b>16～18計</b>	16歳	17歳	18歳				
11	2	5	4				
<b>19～計</b>	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳
41	5	2	2	5	0	2	0
	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳
	0	2	1	1	1	1	4
	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳
	3	3	2	2	0	3	2
<b>合計</b>							
113							



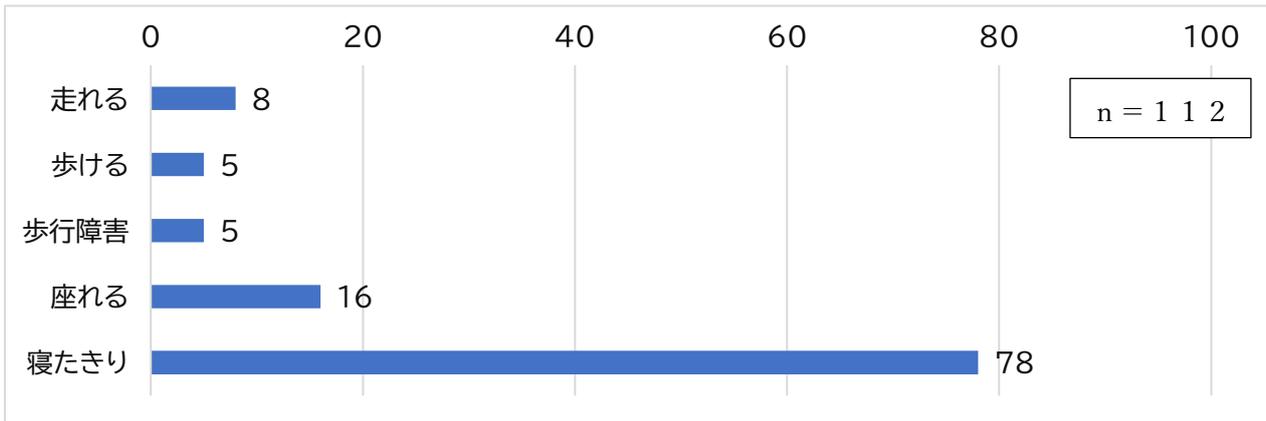
問4 アンケートの回答者（医療的ケア児者本人からみた続柄）



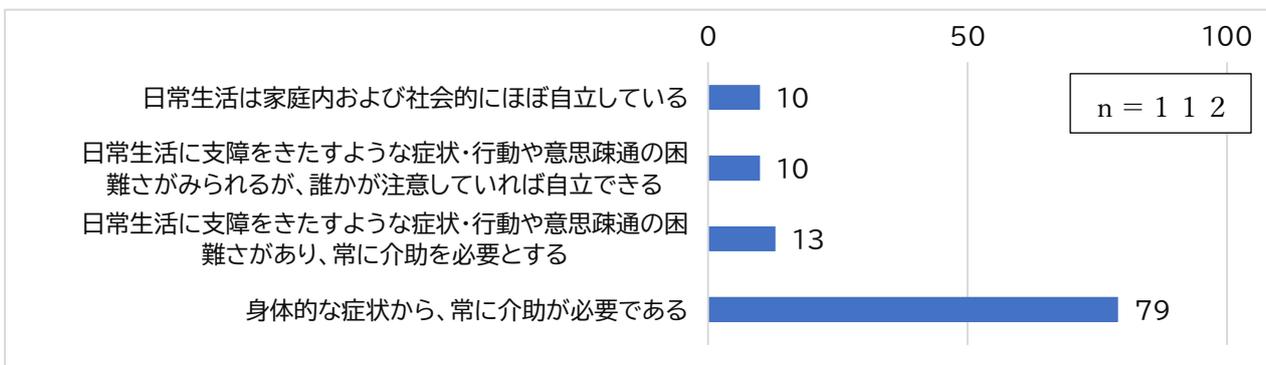
問5 現在受けている医療的ケア（複数回答可）



### 問6 運動状況

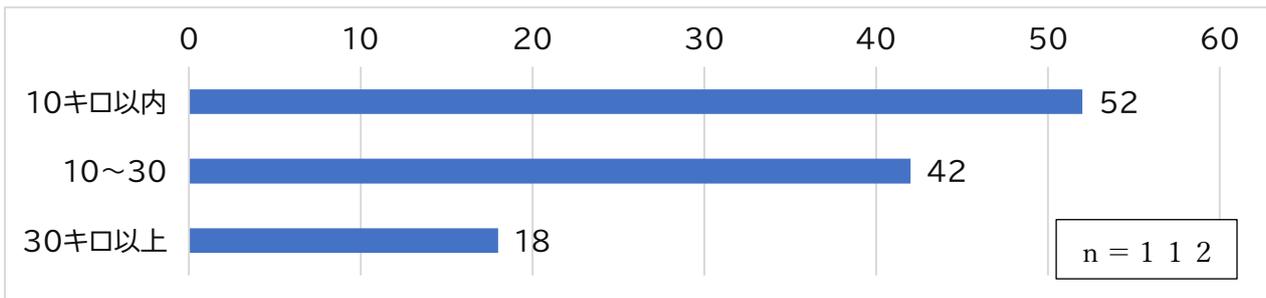


### 問7 意思疎通の状況や介助の必要性



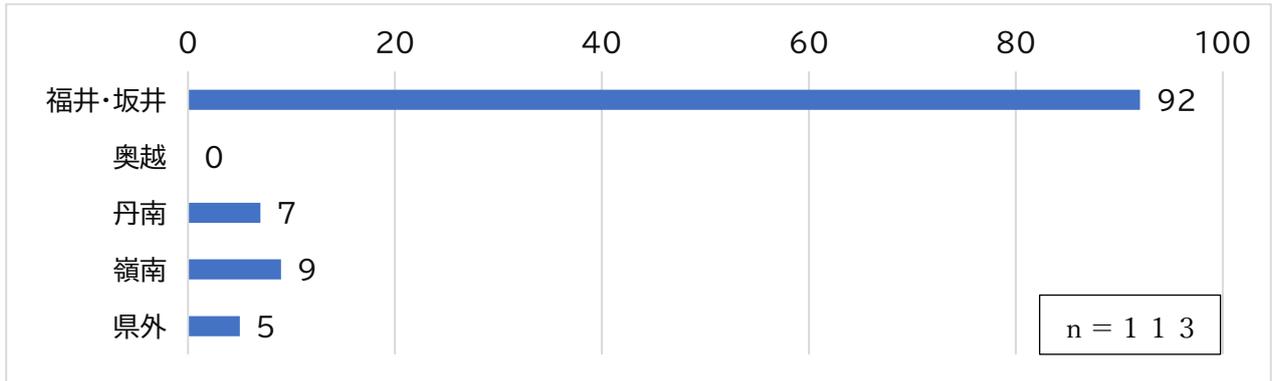
・意思疎通の状況や介助の必要性については、常に介助が必要であるものが95人（82%）であり、さらに95人のうち8割以上が「身体的な症状から常に介助が必要である」と回答

### 問8 主たる医療機関への移動距離



・30キロ以上と回答した方は9市町に居住（敦賀市、小浜市、大野市、鯖江市、越前市、坂井市、南越前町、美浜町、若狭町）。うち、福井・坂井圏域へ通院しているのは12人、丹南地域へ通院は1人、県外へ通院は5人

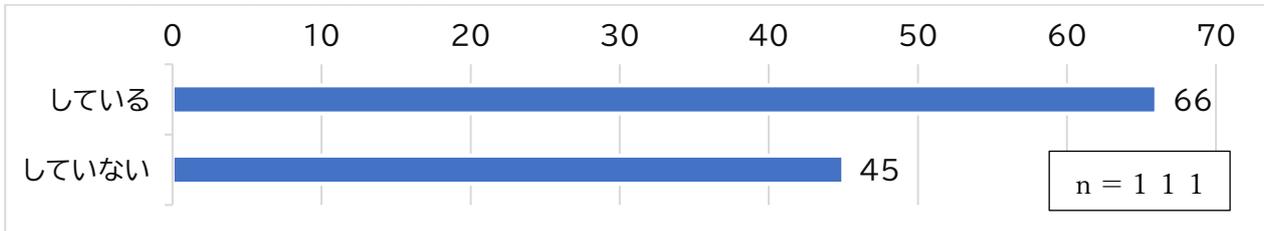
### 問9 主たる医療機関の所在地



・福井・坂井地区、丹南地区の方は居住地と医療圏域が一致しているが、奥越地区の方は福井・坂井地区の医療機関に通院しており、嶺南地区の方は嶺南および福井・坂井地区の医療機関に通院している。

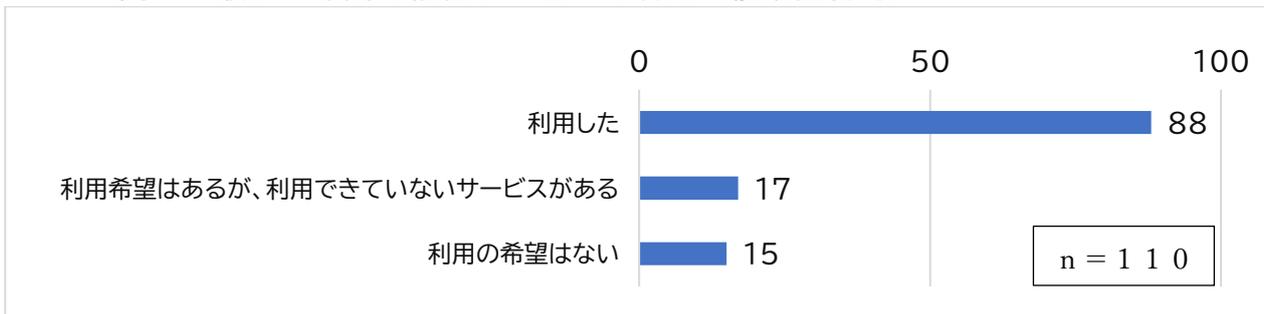
## 2. 医療的ケア児者の日中の過ごし方について

### 問1 通園・就学・就労について

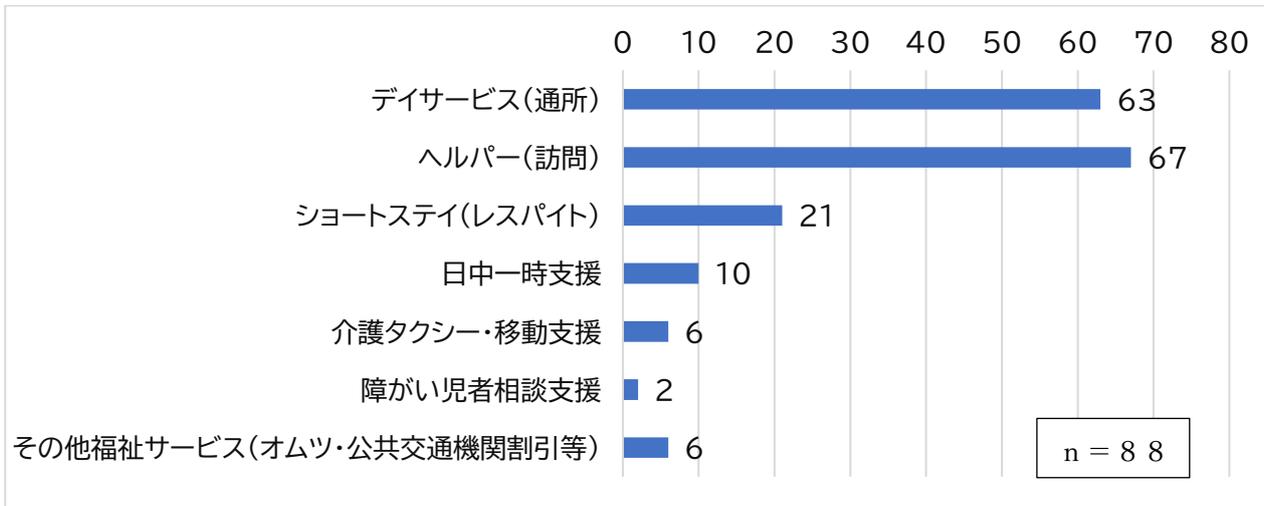


・ 19歳以上で就労していないのは21人であり、うち19人が寝たきりである。

### 問2 最近1年間の福祉サービスの利用（複数回答可）



#### ➤ 「1 利用した」と回答された方の利用したサービス（複数回答可）



➤ 「2 利用希望はあるが、利用できないサービスがある」方の利用できない理由等

＜ショートステイ（レスパイト）・入所施設＞

n = 20

- ・一人きりがかわいそう。
- ・急な利用ができない。
- ・コロナ禍の影響もあり、受け入れ事業所が見つからない。受け入れ事業所が少ない。
- ・夜間対応できる職員がいないため断られる。
- ・抜管の可能性や自傷行為があるため。
- ・夜泣きがあるため断られる。
- ・適切な案内がないためわからない。

＜デイサービス（生活介護・放課後等デイサービス）＞

- ・受け入れ人数がいっぱいのため、希望日数の利用ができない。
- ・看護師の在駐していない施設では預かってもらえない。

＜入浴＞

- ・通所で利用している事業所とは別の事業所での利用になってしまう。
- ・居住している市町に訪問入浴サービスがないため、自宅での入浴が困難。
- ・医療的ケア児にも対応した事業所が少ない。

＜日中一時支援＞

- ・急な利用ができない。

＜公共交通機関の定期券割引＞

- ・距離が近いいため割引対象外になる。

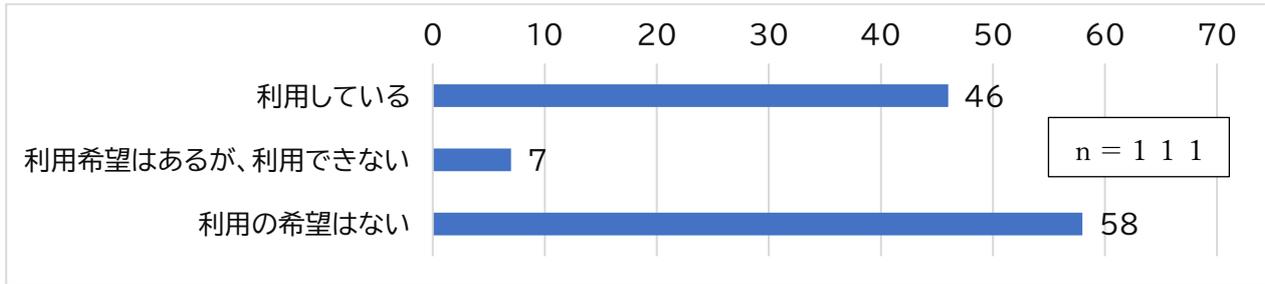
＜ヘルパー・訪問介護＞

- ・小児の医療的ケアに対応できないため。
- ・自宅が狭いため、家族が嫌がる。
- ・市に相談したが、こどもが利用した前例がないため難しい。

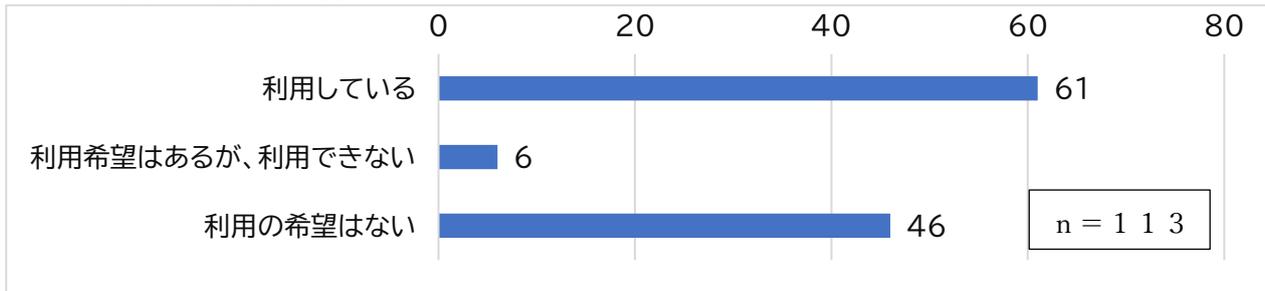
＜住宅改修＞

- ・ふらつきがあり歩行困難だが、足の障がいがないため補助が受けられない。

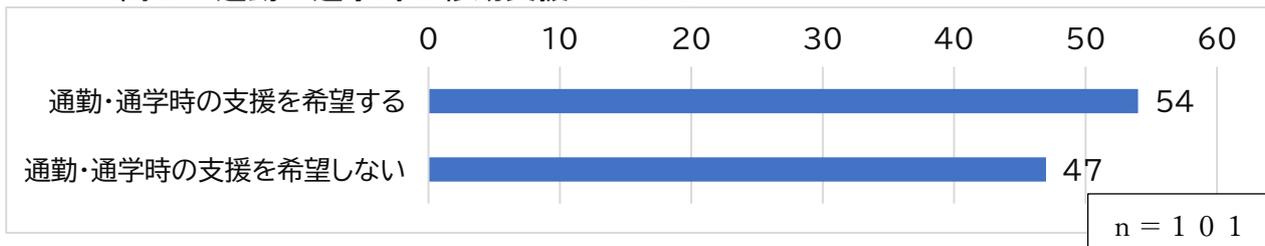
### 問3 訪問診療の利用について



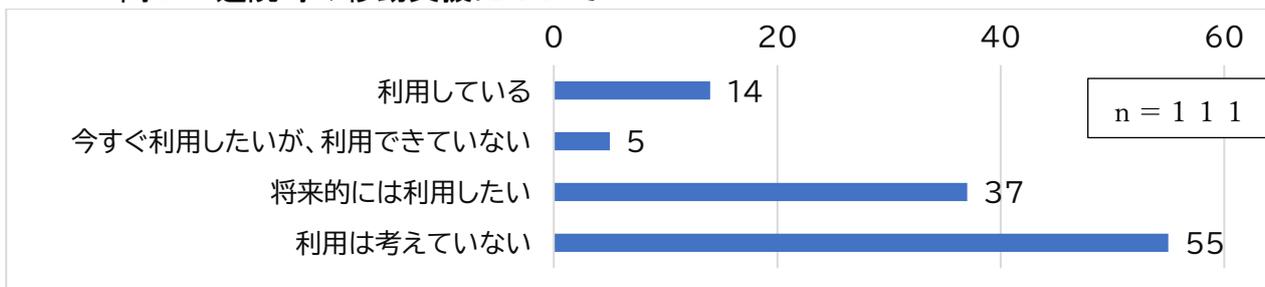
### 問4 訪問看護の利用について



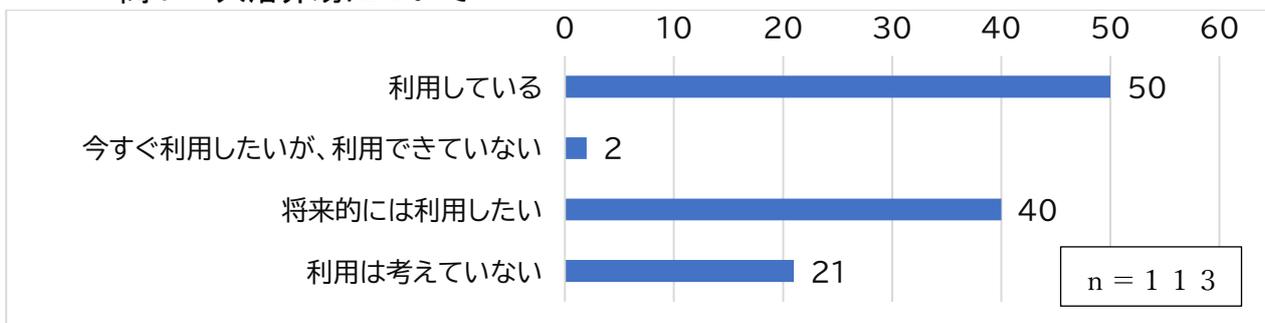
### 問5 通勤・通学時の移動支援について



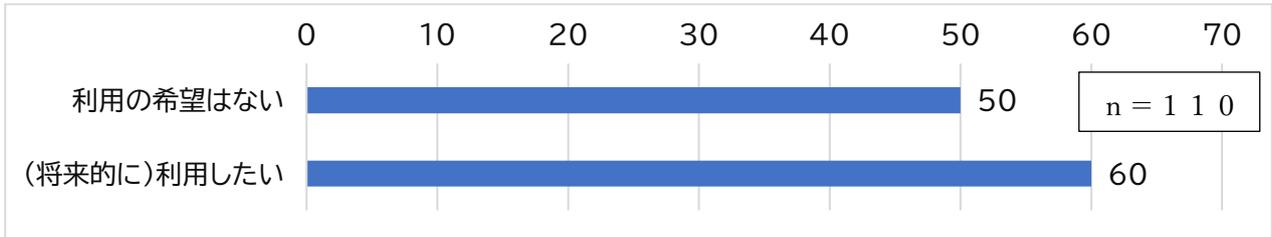
### 問6 通院時の移動支援について



### 問7 入浴介助について

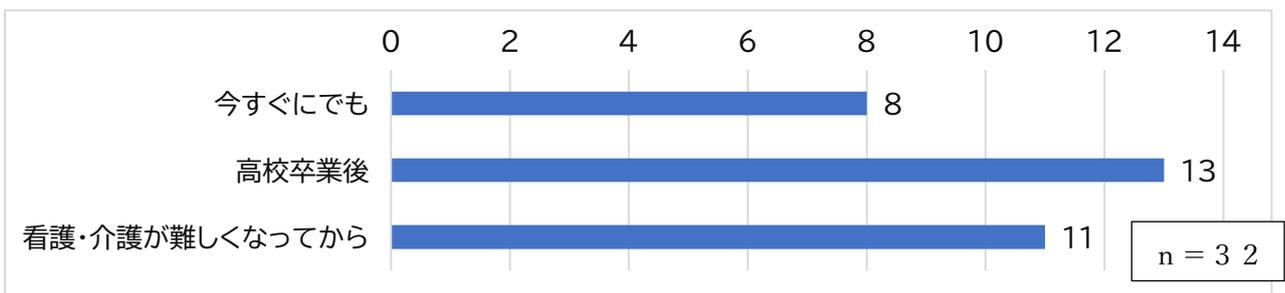


### 問8 医療的ケア児者に対応したグループホームの利用希望



- ・医療的ケア児者に対応したグループホームについては、「(将来的に) 利用したい」が過半数を超えている。
- ・利用を希望している看護・介護者の年代は20代から70代までと回答があった全世代にわかれている。

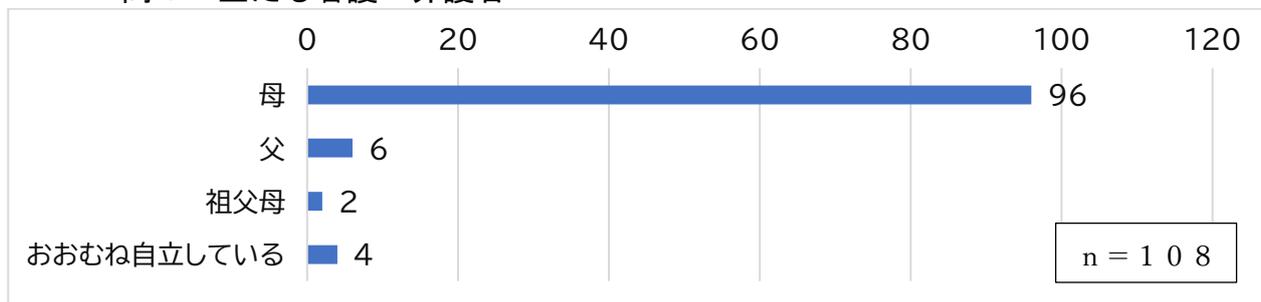
#### ➤ 利用希望時期



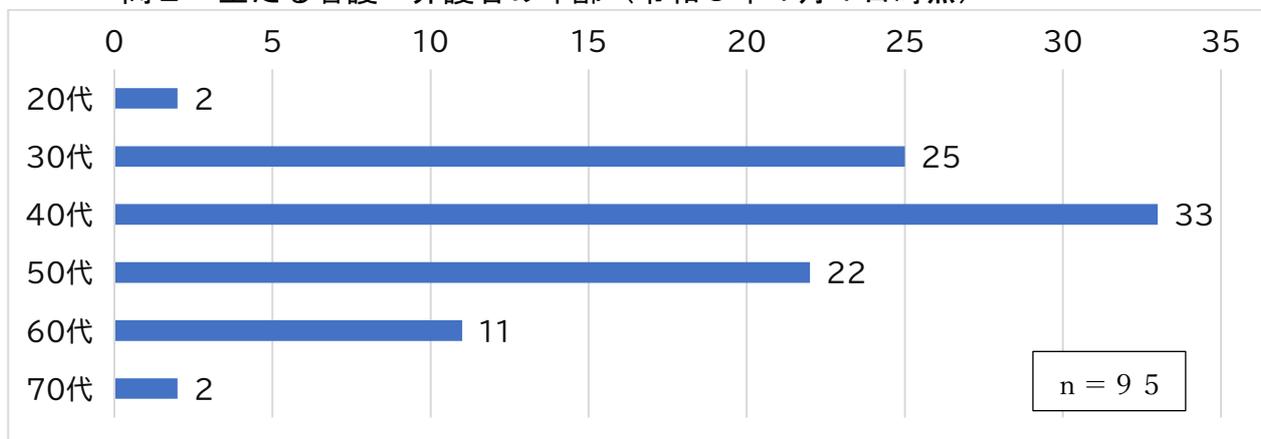
- ・医療的ケア児者に対応したグループホームの利用希望時期は、「高校卒業後」が41%と最も多く、次いで「看護・介護が難しくなってから」が34%、「今すぐにも」が25%となっている。
- ・「今すぐにも」と回答した看護・介護者の年代は40代～60代であった。また、「高校卒業後」と回答したのは、20代～40代であり。「看護・介護が難しくなってから」は各年代にわかれている。

### 3. 主たる看護・介護者の状況について

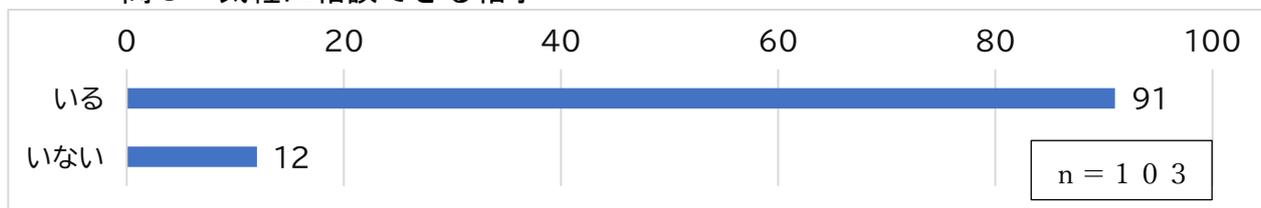
問1 主たる看護・介護者



問2 主たる看護・介護者の年齢（令和3年4月1日時点）

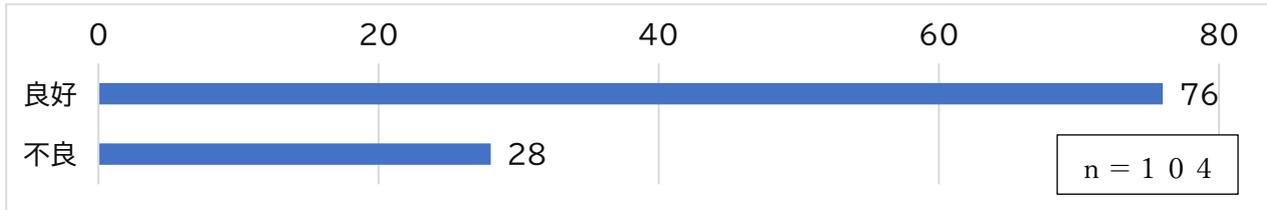


問3 気軽に相談できる相手



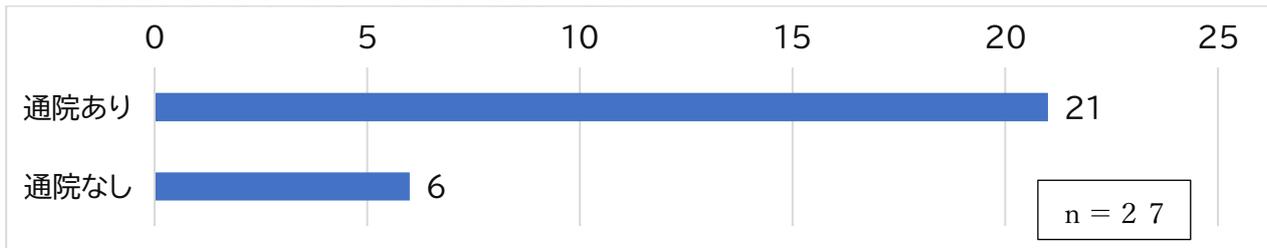
- ・ 40代から70代の看護・介護者の中に相談相手がない方がいる。

#### 問4 健康状態

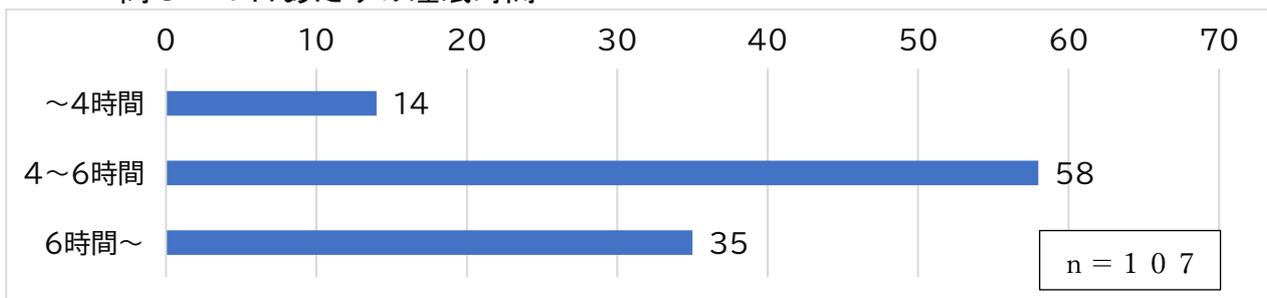


・健康状態が不良と回答したのは、主に40代(10人)、50代(6人)、60代(6人)。

#### ➤ 不良と回答された方のうち、通院の有無



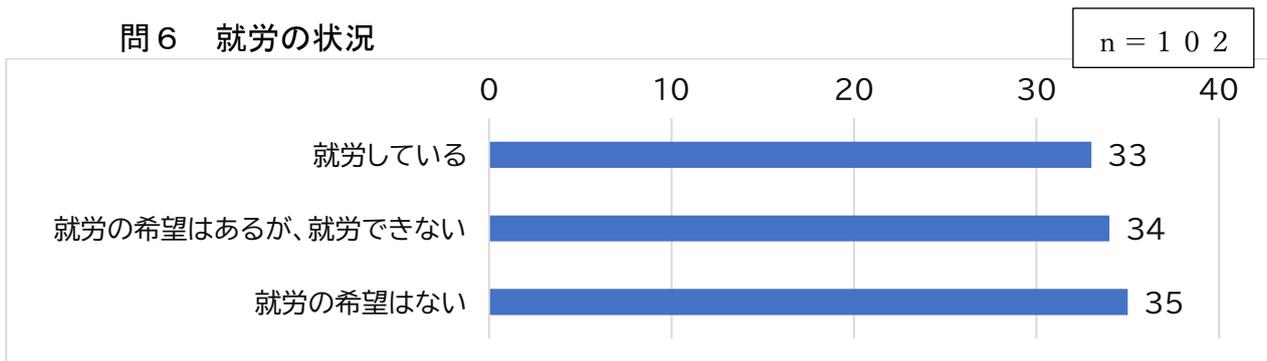
#### 問5 1日あたりの睡眠時間



・1日あたりの睡眠時間は、「4~6時間」が最も多いが、13%の方が「4時間未満」となっている。

・睡眠時間「4時間未満」の方の半数が健康状態が「不良」と回答。

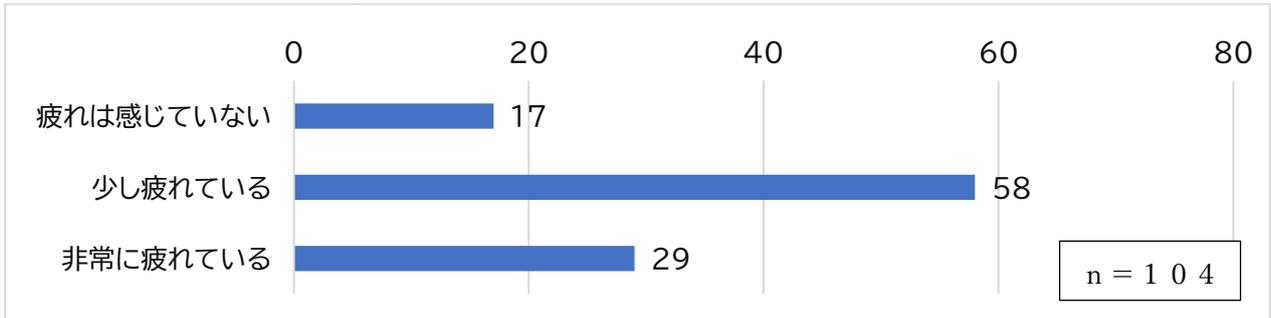
#### 問6 就労の状況



・就労の状況については、「就労している」が全体の32%であり、「就労の希望はあるが、就労できない」が全体の33%となっている。

・看護・介護者の世代別にみると「就労している」のは40代(13人)が最も多く、次いで30代(9人)、「就労の希望はあるが、就労できない」のは40代(12人)が最も多く、次いで30代(9人)、50代(8人)、「希望はない」は40代(9人)が最も多く、次いで50代(8人)、30代(6人)となっており、世代による差はない。

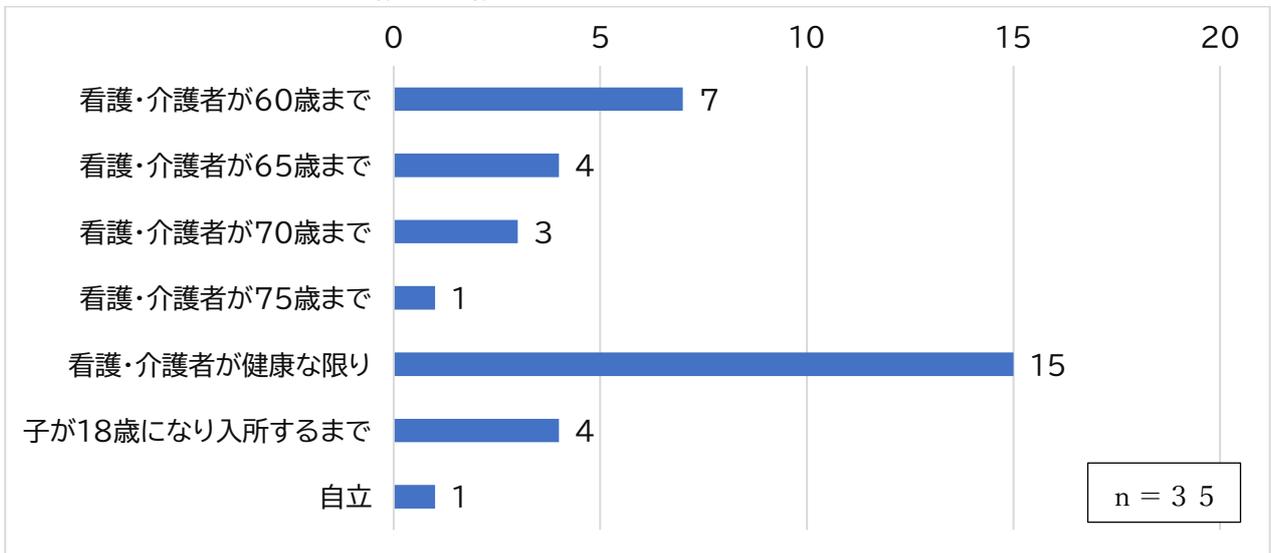
### 問7 看護・介護の状況



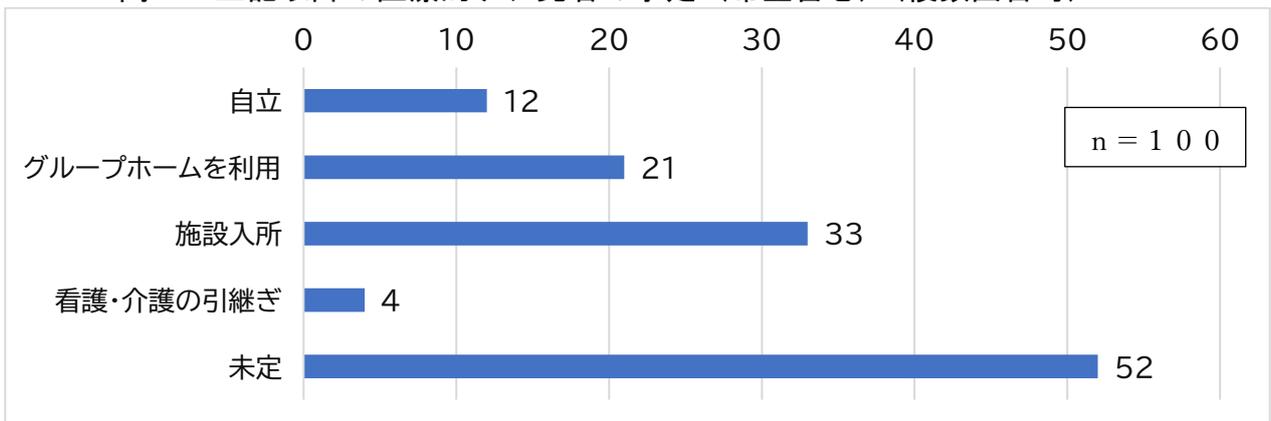
・看護・介護の状況は、「少し疲れている」「非常に疲れている」が87人（84%）であり、そのうち、3人に1人は「非常に疲れている」と感じている。

・「非常に疲れている」看護・介護者は、40代が最も多く、次いで50代、60代

### 問8 在宅での看護・介護の予定（希望含む）

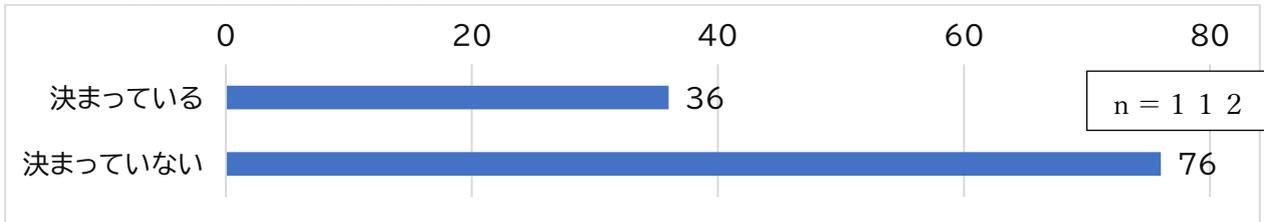


### 問9 上記以降の医療的ケア児者の予定（希望含む）（複数回答可）



#### 4. 医療的ケア児者の災害時・緊急時の対策について

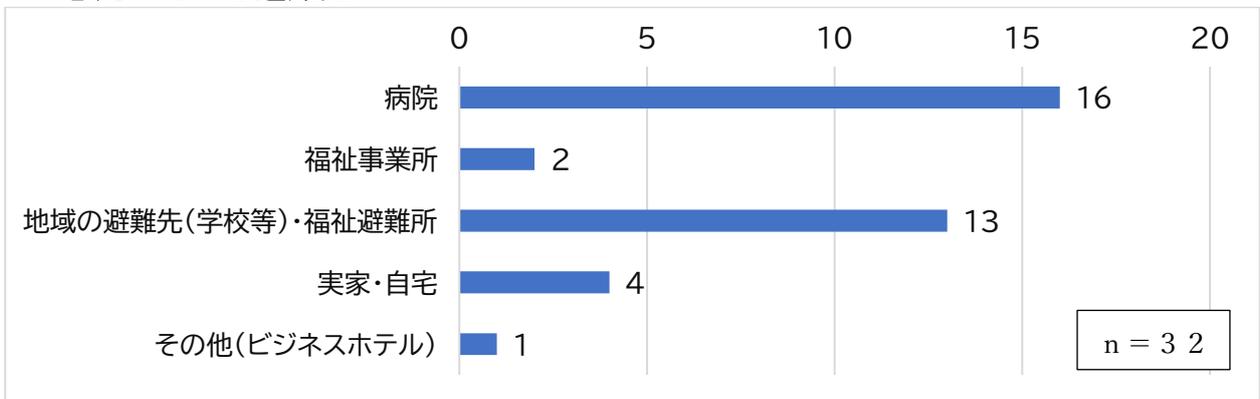
##### 問1 災害時の避難先



・避難先が決まっていない医療的ケア児者が多く、特に嶺南圏域で決まっていないと回答した割合が高い。(敦賀市は居住者の80%が決まっていない、小浜市、美浜町、若狭町、高浜町100%)

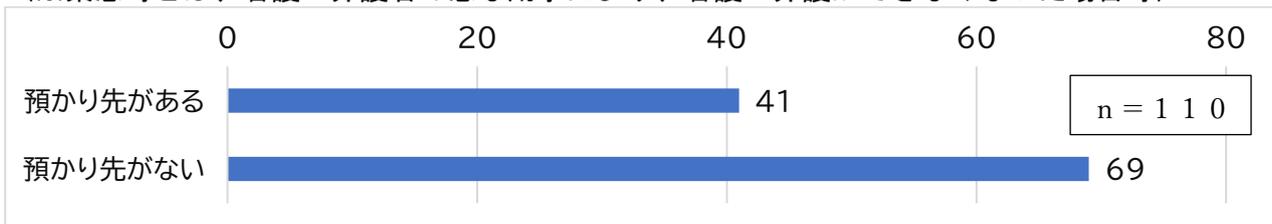
・居住市町ごとに避難先が決まっているとした割合で最も高かったのは、永平寺町で75%、次いであわら市で60%。

##### ➤ 想定している避難先

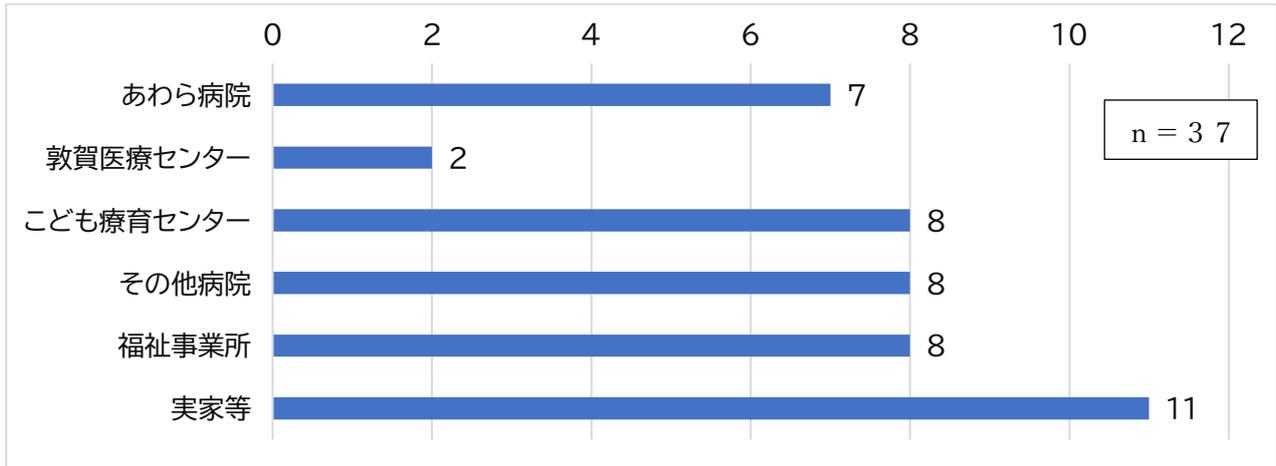


##### 問2 緊急時の預かり先

(※緊急時とは、看護・介護者の急な用事により、看護・介護ができなくなった場合等)

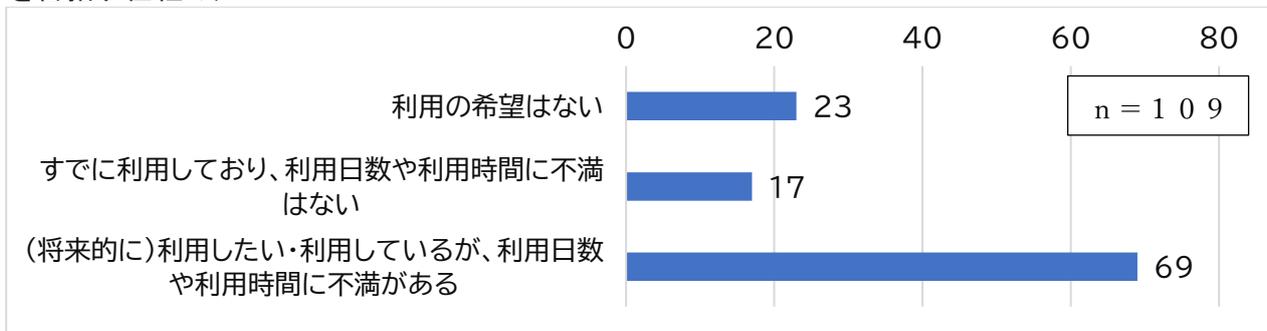


➤ 想定している預かり先



問3 レスパイトの利用希望

(※レスパイトとは、看護・介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に期間を設けて受け入れを行い、看護・介護者の負担軽減（息抜き）を目指す仕組み)



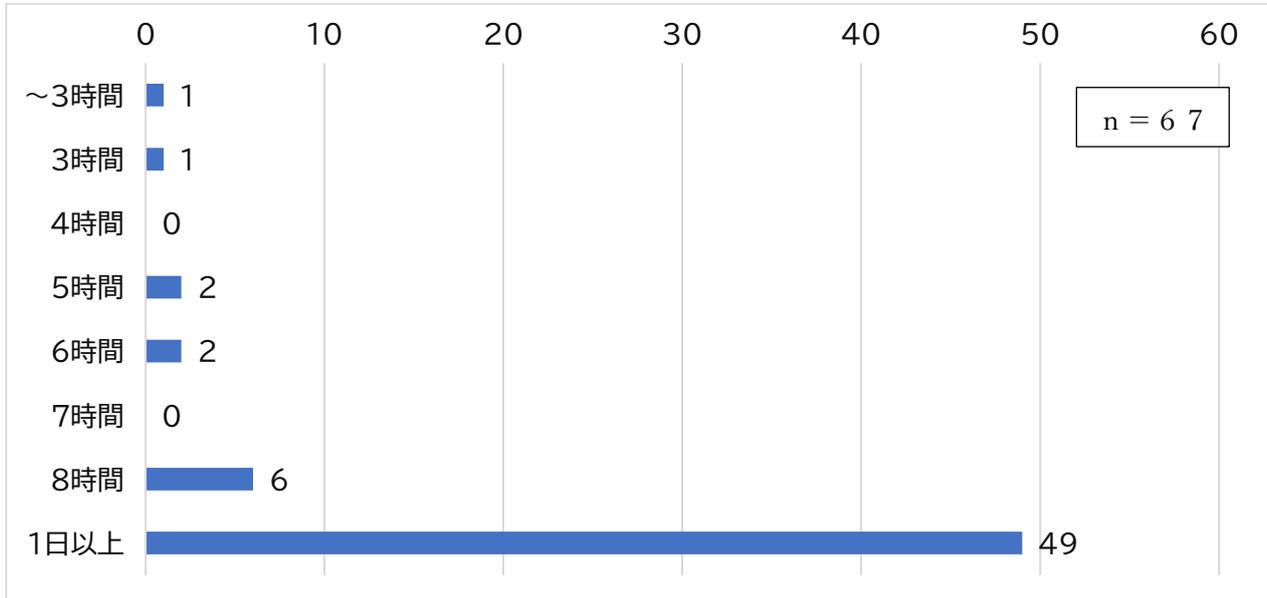
・「利用希望はない」とした23人の約半数は日常生活は自立している。なお、約半数は介助、全介助が必要であるが、本人が18歳未満が多い。

・「利用希望はない」と回答し全介助が必要な30代の方もいるが、その方は看護・介護者が健康状態が良好であり、就労していない（就労希望もない）。

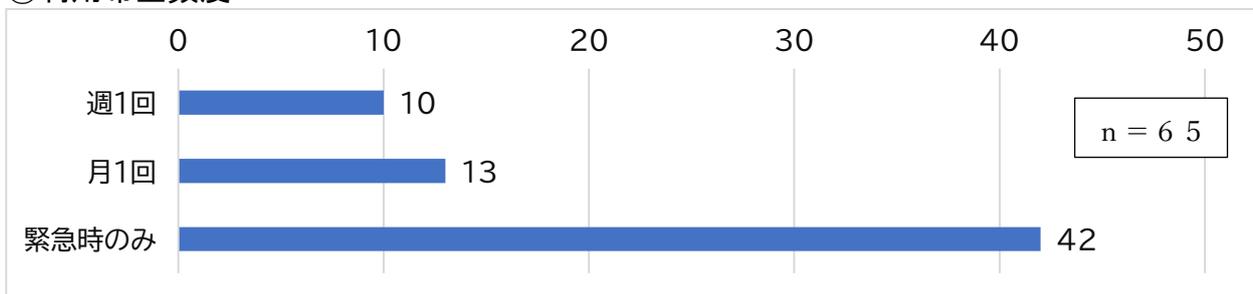
#### 問4 レスパイトの利用希望

問3にて「(将来的に) 利用したい・利用したいが、利用日数や利用時間に不満がある」と回答された方について

##### ① 1回あたりの利用希望時間



##### ② 利用希望頻度



## 5. 調査を通して感じたことやその他コメント（自由記載）

### （主な意見）

#### ➤ レスパイトについて

- ・受け入れ施設や人数を増やしてほしい。
- ・利用しても寝かせきりにならないか不安がある。リハビリをしてほしい。

#### ➤ 災害時について

- ・呼吸器を装着しているため、避難が難しい。
- ・災害時の対応マニュアルを作成してほしい。
- ・近くの病院や主治医と連絡を取れるようにしてほしい。
- ・避難先で毛布等の一般的な物品が借りたい。
- ・避難訓練に参加できるようにしてほしい。

#### ➤ 日中の障がい福祉サービスについて

- ・看護師による通学支援がほしい。
- ・動ける医療的ケア児の行き場を確保してほしい。
- ・自宅近くに利用したい障がい福祉サービスを提供している施設がない。（児童発達支援、入浴介助等）
- ・保育園や託児所に必要に応じて看護師が派遣される体制を作してほしい。
- ・看護・介護者が訪問型でカウンセリングを受けられるようにしてほしい。（母親は子どもを健康に産んであげられなかったという自責の念が強いため）
- ・訪問看護の利用時間が最大90分では短すぎる。
- ・利用できる福祉サービスがわからない。どこに聞けばいいのかもわからない。
- ・預け先がないため働けない。

#### ➤ グループホームや入所施設について

- ・数年以内にほしい。将来的にほしい。
- ・医療的ケアが必要で重症心身障がい者でも受け入れてほしい。
- ・高齢になった親と一緒に入れるようにしてほしい。

#### ➤ 高校卒業後について

- ・18歳という年齢を境に利用できるサービスが変わるため、わからない。
- ・年齢相応の自立をサポートしてほしい。

#### ➤ 商業施設等の設備について

- ・ユニバーサルシートが少ない。
- ・カーポートのある駐車場が少ない。

#### ➤ その他

- ・医療的ケア児の看護・介護者が気軽に集まって話をしたりする場所がほしい。
- ・子どもが生まれてから3時間以上連続で眠ったことがない。
- ・教職員のインクルーシブ教育への理解を深めてほしい。
- ・過去に似たようなアンケートに答えたことがあるが、改善されたという感じがしない。

## 付録 調査票



## 令和 3 年度福井県医療的ケア児者実態調査へのご協力依頼

この度はお忙しい中、令和 3 年度福井県医療的ケア児者実態調査にご協力くださりありがとうございます。

平成 30 年度には 18 歳以下対象に調査を実施しましたが、今回は対象を 40 歳未満に広げ、未就学児、就学児、卒業後の各世代にわたる共通の課題や世代ごとの課題についてみなさまの現状を知り、今後の施策に反映させたいと考えております。

県内の医療機関等を対象に実施した一次調査では、在宅で生活し、医療的ケアを必要とする 40 歳未満の方が県内に 197 名いらっしゃる事が分かりました。

この二次調査は、約 200 名のみなさまが本当に必要としているサービスを知り、みなさまが住みよいまちづくりを進めていくためにとても重要な調査になります。将来について心配に思ったり、不安に思ったりしていることや楽しみにしていることなど、みなさまが生活の中で感じていることを教えてください。

本調査へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 【本調査の目的】

医療的ケアを必要とするみなさまが安心して日常生活を送ることができるよう計画的に体制整備するための実態調査

### 【本調査の対象者】

福井県内にお住まいで、主に在宅で生活されており、日常生活を営むのに以下の医療的ケアを必要とする方のうち、令和 3 年 4 月 1 日時点で 40 歳未満(昭和 57 年 4 月 2 日生まれ以降)の方

<対象の医療的ケア>

点滴の管理・腹膜透析・酸素療法・気管切開の処置・疼痛の看護・経管栄養・排便、洗腸などの排便管理・モニター測定・導尿・膀胱留置カテーテル、コンドームカテーテル等・胃ろうのチューブ交換・中心静脈栄養・ストーマ(人工肛門)の処置・レスピレーター(人工呼吸器)・吸引・咽頭エアウェイ・吸入・インスリン注射・褥瘡の処置・てんかん発作時の処置や対応・持続注入ポンプ使用

### 【ご回答にあたっての注意事項】

- 1 本調査は匿名で回答できます。
- 2 みなさまからの回答は、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。
- 3 調査票の余白はすべて自由記載欄になります。選択肢の中に該当する回答がない場合やその他伝えたいことがございましたら、コメント欄や空いてるスペースを利用してご記載ください。回答欄外も含めてすべてに必ず目を通します。
- 4 調査票が各関係機関から複数届きました場合にも、医療的ケア児者 1 名につき、1 回のご回答をお願いします。

5 回答は、別紙調査票または下記URL・QRコードからお願いします(質問内容はすべて同じです)。

調査票にてご回答いただく場合は、調査票1通のみをこの調査票が入っていた返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください(切手は不要です)。

URL:<https://forms.office.com/r/4XDk6RmuhD>

Q R:



※誠に恐縮ですが、アクセスする際の通信料等は負担ください。

6 ご回答の期限は令和3年11月26日(金)です。

7 調査にご協力いただけない場合も、お手数ですが上記期限までに無回答のままご返送ください。

8 調査結果については県障がい福祉課のホームページに掲載予定です(準備中)。

9 その他、この調査に関する問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

【提出先および問い合わせ担当】

福井県健康福祉部障がい福祉課自立支援グループ

〒910-8790 福井市大手3丁目17-1

TEL:0776-20-0339

(開庁時間 平日午前8時30分から午後5時15分)

FAX:0776-20-0639

MAIL:[syogai@pref.fukui.lg.jp](mailto:syogai@pref.fukui.lg.jp)

(別紙調査票・提出用)

## 令和3年度福井県医療的ケア児者実態調査票

※当てはまるものに○をつけていただくか、( )に回答をご記入ください。

※余白はすべて自由記載欄になります。選択肢の中に回答がない場合やその他伝えたいことがございましたら、コメント欄や空いているスペースを利用してご記載ください。

※スマートフォンによる回答方法は[令和3年度福井県医療的ケア児者実態調査の協力依頼](#)をご覧ください。

### I 医療的ケア児者ご本人さまの状況についてご回答ください (全9問)

問1 お住まいの市町

( )市・町

問2 出生した市町

1 ( )市・町 2 県外・国外

→居住地と出生地が異なる場合、医療的ケアが必要であるために引っ越しを要した場合はチェック

問3 ご年齢(令和3年4月1日現在)

満( )歳

問4 アンケートの回答者さま(医療的ケア児者ご本人さまからみた続柄)

1 本人 2 母 3 父 4 祖父母 5 兄弟姉妹 6 親族 7 友人・知人

8 その他( )

問5 現在受けている医療的ケア(複数回答可)

1 点滴の管理 2 腹膜透析 3 酸素療法 4 気管切開の処置 5 疼痛の看護 6 経管栄養

7 排便、洗腸などの排便管理 8 モニター測定 9 導尿

10 膀胱留置カテーテル、コンドームカテーテル等 11 胃ろうのチューブ交換 12 中心静脈栄養

13 ストーマ(人工肛門)の処置 14 レスピレーター(人工呼吸器) 15 吸引 16 インスリン注射

17 褥瘡の処置 18 てんかん発作時の処置や対応 19 持続注入ポンプ使用

問6 運動状況

1 走れる 2 歩ける 3 歩行障害 4 座れる 5 寝たきり

問7 意思疎通の状況や介助の必要性

1 日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している

2 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られるが、誰かが注意していれば自立できる

3 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがあり、常に介助を必要とする

4 身体的な症状から、全介助が必要である

問8 主たる医療機関への移動距離  
1 10km以内 2 10～30km 3 30km以上

問9 主たる医療機関の所在地  
1 福井・坂井地区(永平寺町含む) 2 奥越地区 3 丹南地区 4 嶺南地区 5 県外

## II 医療的ケア児者ご本人さまの日中の過ごし方についてご回答ください (全8問)

問1 通園・就学・就労について  
1 通園・就学・就労している 2 通園・就学・就労していない

問2 最近1年間の福祉サービスの利用(複数回答可)  
1 利用した 2 利用の希望があるが、利用できないサービスがある 3 利用の希望はない  
→「1 利用した」と回答された方に伺います。利用された福祉サービスを教えてください。

[ ]

→「2 利用希望はあるが、利用できないサービスがある」と回答された方に伺います。  
利用できない事情と福祉サービス名・内容について教えてください。

[ ]

問3 訪問診療の利用について  
1 利用している 2 利用の希望はあるが、利用できない 3 利用の希望はない

問4 訪問看護の利用について  
1 利用している 2 利用の希望はあるが、利用できない 3 利用の希望はない

問5 通勤・通学時の移動支援について  
1 福祉サービスによる通勤・通学時の支援を希望する  
2 福祉サービスによる通勤・通学の支援は希望しない

問6 通院時の移動支援について  
1 福祉サービスを利用している 2 今すぐ福祉サービスを利用したいが、利用できていない  
3 将来的には福祉サービスを利用したい 4 福祉サービスの利用は考えていない

問7 入浴介助について  
1 福祉サービスを利用している 2 今すぐ福祉サービスを利用したいが、利用できていない  
3 将来的には福祉サービスを利用したい 4 福祉サービスの利用は考えていない

- 問8 医療的ケア児者に対応したグループホームがあれば利用したいですか  
1 利用の希望はない 2 (将来的に)利用したい →利用希望時期( )

### Ⅲ 主たる看護・介護者の状況についてご回答ください (全9問)

- 問1 主たる看護・介護者  
1 母 2 父 3 祖父母 4 兄弟姉妹 5 親戚 6 友人・知人  
7 その他( )  
8 おおむね自立している →Ⅲから回答をお願いします

- 問2 ご年齢(令和3年4月1日現在)  
満( )歳

- 問3 気軽に相談できる相手  
1 いる 2 いない

- 問4 健康状態  
1 良好 2 不良 ( 1 通院あり 2 通院なし )

- 問5 1日あたりの睡眠時間  
1 4時間未満 2 4～6時間 3 6時間以上

- 問6 就労の状況  
1 就労している 2 就労の希望はあるが、就労できない 3 就労の希望はない

- 問7 看護・介護の状況  
1 疲れは感じていない 2 少し疲れている 3 非常に疲れている

- 問8 在宅での看護・介護の予定(希望含む)  
1 主たる看護・介護者が満( )歳まで・(およそ )年後) 2 未定  
3 その他( )

- 問9 上記以降のご本人の予定(希望含む)(複数回答可)  
1 自立 2 グループホームを利用 3 施設入所 4 主たる看護・介護を別の者に引き継ぐ  
5 未定 6 その他( )

### Ⅳ 医療的ケア児者ご本人さまの災害時・緊急時の対策についてご回答ください (全4問)

- 問1 災害時の避難先  
1 決まっている →想定している避難先( )  
2 決まっていない

問2 緊急時(※)の預かり先 (※緊急時とは、看護・介護者の急な用事により、看護・介護ができなくなった場合等)  
1 預かり先がある →想定している預かり先( )  
2 預かり先がない

問3 レスパイト(※)を利用したいですか (※介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に期間を設けた受け入れを行い、介護者の負担軽減(息抜き)を目指す仕組み)  
1 利用の希望はない 2 すでに利用しており、利用日数や利用時間に不満はない  
3 (将来的に)利用したい・利用しているが、利用日数や利用時間に不満がある

問4 問3にて「3 (将来的に)利用したい・利用しているが、利用日数や利用時間に不満がある」と回答された方は以下の質問にご回答ください。  
①1回あたりの利用希望 1. 3時間未満 2. 3時間 3. 4時間 4. 5時間 5. 6時間  
6. 7時間 7. 8時間 8. 1日以上  
②利用希望頻度 1. 週に1回程度 2. 月に1回程度 3. 緊急時に利用できれば良い(年に数回)

#### V 調査を通して感じたことやその他のコメントがあればご自由にお書きください。

(生活をする中での不安や困ったこと、よかったこと、障がい福祉サービスの利用のことや災害時・緊急時のこと、その他上記の質問に答えていく中で書ききれなかったことなど。)

最後に、調査について追加で聞き取りの調査にご協力いただける場合は下記にご連絡先をご記載ください。(実施については検討中です)

回答者さま氏名( ) ご本人さまから見た続柄( )  
ご連絡先電話番号( — — )  
ご連絡のつきやすい曜日や時間帯( )

**ご協力いただきありがとうございました。**  
**同封しました返信用封筒に入れてそのままポストに投函してください(料金はかかりません)。**

